

地震調査研究推進本部政策委員会  
第 1 0 回成果を社会に活かす部会議事要旨 ( 案 )

1 . 日時 平成 1 4 年 1 0 月 9 日 ( 水 ) 1 0 時 ~ 1 2 時

2 . 場所 経済産業省別館 1 0 階 第 1 0 1 4 会議室

3 . 議題

- ( 1 ) 長期評価の确实度 ( 信頼度 ) について
- ( 2 ) 地震動予測地図の防災対策等への活用について
- ( 3 ) その他

4 . 配布資料

- 資料 成 1 0 - ( 1 ) 地震調査研究推進本部政策委員会  
第 9 回成果を社会に活かす部会議事要旨 ( 案 )
- 資料 成 1 0 - ( 2 ) 地震調査委員会における長期評価の确实度 ( 信頼度 )  
に関する取り組みについて
- 資料 成 1 0 - ( 3 ) 第 9 回会合 ( 6 / 2 7 ) における議論の概要
- 資料 成 1 0 - ( 4 ) 防災対策から見た地震調査研究 ( 布村委員 )
- 資料 成 1 0 - ( 5 ) 長期地震予知情報を利用した既存不適格住宅の耐震補強  
促進策について ( 東大生産研目黒助教授 )
- 資料 成 1 0 - ( 6 ) 地震に関するセミナーについて

5 . 出席者

- |     |        |                          |
|-----|--------|--------------------------|
| 部会長 | 廣井 脩   | 東京大学社会情報研究所長             |
| 委員  | 青砥 謙一  | 兵庫県防災監                   |
|     | 阿部 勝征  | 東京大学地震研究所教授              |
|     | 入倉 孝次郎 | 京都大学防災研究所長               |
|     | 島崎 邦彦  | 東京大学地震研究所教授              |
|     | 下田 隆二  | 東京工業大学フロンティア創造共同研究センター教授 |
|     | 鈴木 康弘  | 愛知県立大学情報科学部助教授           |
|     | 高梨 成子  | ( 株 ) 防災 & 情報研究所代表       |
|     | 中林 一樹  | 東京都立大学大学院都市科学研究科教授       |
|     | 布村 明彦  | 内閣府参事官 ( 地震・火山対策担当 )     |

地震調査委員会

津村 建四郎 地震調査委員会委員長

専門家 目黒 公郎 東京大学生産技術研究所助教授

事務局 磯谷 桂介 文部科学省研究開発局地震調査研究課長  
中川 勝登 文部科学省研究開発局地震調査研究課  
地震調査研究企画官  
前田 憲二 文部科学省研究開発局地震調査研究課地震調査管理官

吉田 秀保	文部科学省研究開発局地震調査研究課地震火山専門官
前田 豊	文部科学省研究開発局地震調査研究課課長補佐
青木 重樹	文部科学省研究開発局地震調査研究課地震調査官
梅田 裕介	文部科学省研究開発局地震調査研究課

## 6. 議事

- (1) 前回議事要旨が了承された。
- (2) 地震調査委員会長期評価部会の島崎部会長及び地震調査委員会事務局から、長期評価部会における長期評価の確実度（信頼度）に関する検討状況について、資料 成10 - (2)に基づき、説明がなされ、議論が行われた。今後、本部会での議論の結果を踏まえて、地震調査委員会で検討を行っていただくこととし、何度かキャッチボールをして議論がまとまった段階で、政策委員会に報告することとした。
- (3) 事務局から、資料 成10 - (3)に基づき、前回会合における議論の概要について、説明がなされた。
- (4) 布村委員から、資料 成10 - (4)に基づき、防災対策からみた地震調査研究に関して説明がなされた。
- (5) 東大生産研目黒助教授から、資料 成10 - (5)に基づき、長期地震予知情報を利用した既存不適格住宅の耐震補強促進策について説明がなされた。
- (6) 事務局の説明や委員等の提案を踏まえて、議論が行われた。その結果、今後の議論の視点として、以下の点が認識された。  
長期評価だけ（それも地震発生確率だけ）でなく、強震動や被害想定と組み合わせた形での議論を行っていく必要がある。  
ユーザーのニーズに対応した、わかりやすい広報が重要である。
- (7) 事務局から、資料 成10 - (6)に基づき、地震に関するセミナーについて説明がなされた。